

平成 27 年 8 月 10 日  
NPO 法人 ICP 鎌倉地域振興協会  
国宝史蹟研究会

講演会 鎌倉を知る・愛する・創造する公開講演会シリーズ第 8 弾！

## 鎌倉の古文書 歴史を伝える頼朝から家康まで

NPO 法人 ICP 鎌倉地域振興協会と国宝史蹟研究会は、2010 年 3 月に講演会「鎌倉の桜」の共催を皮切りに、その後「鎌倉の鐘」、「守られた鎌倉の中世遺跡 釈迦堂口遺跡」、「鎌倉のやぐら」、「鎌倉出土の青磁と瀬戸 東アジアと武家文化」、「和賀江島と六浦津ー東アジアとの交流」、「頼朝と永福寺-京都・平泉そして鎌倉」の講演会を実施してきました。

今回のテーマ「鎌倉の古文書 歴史を伝える頼朝から家康まで」は、鶴岡八幡宮、建長寺、円覚寺、極楽寺、金沢文庫ほか、この地域の古社寺に残された、源氏三代、北条政子、北条氏、足利氏、小田原北条氏、信長、秀吉、家康などの古文書から、鎌倉が時代の変化にどのように対応してきたのか、古都の歴史を紐解きます。また栄西、忍性、蘭溪道隆、無学祖元ほか鎌倉ゆかりの僧侶の書も紹介。

古文書は歴史資料ですが、古文書の文字の配列や、本人のサインには、別の楽しみ方もあります。古文書に押されたサイン（自署）を花押（かおう）と呼びます。また戦国時代から花押とともに使われるようになった印章は、材質は黄楊木（つげ）が多く、形状は方形・円形から複雑な形に変化し、印文も文字のほかさまざまな絵画的図様が現れてきます。

日時：2015 年 10 月 13 日（火）14:00～16:00

場所：鎌倉市生涯学習センター（きらら） JR 鎌倉駅東口徒歩 3 分

講師：八幡義信 神奈川県文化財協会会長、国宝史蹟研究会会長、  
NPO 法人 ICP 鎌倉地域振興協会理事長

参加費：資料代 1,000 円

定員 250 名 当日直接会場へ 予約不要

主催：NPO 法人 ICP 鎌倉地域振興協会

国宝史蹟研究会

後援：鎌倉市・神奈川県文化財協会、鎌倉風致保存会、武蔵野文化協会

問合せ先：090-6025-5107（一ノ瀬）

## 講師紹介＝やはた よしのぶ

昭和 14 年鎌倉市小町に生まれる。75 歳。昭和 42 年、國學院大学大学院日本史学専攻修了。神奈川県立歴史博物館学芸部長、鎌倉女子大学教授を経て現在、神奈川県文化財協会会長、NPO 法人 ICP 鎌倉地域振興協会理事長、鎌倉国宝館評議会会長。昭和 11 年創立の国宝史蹟研究会（会員数 約 170 名）を主宰し、父子二代、八十年近くにわたり、東国中世史研究および鎌倉を中心とした地域振興に努めています。

## 参考

主催団体のウェブサイトは下記にあります。

国宝史蹟研究会

<http://kokuhoshiseki.sakura.ne.jp/index.html>



NPO 法人 ICP 鎌倉地域振興協会

<http://icp2001mt.sakura.ne.jp/>

